



あゆみ

No. 160

令和 3年 6月15日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 茶山寮・第二茶山寮
 〒863-0006 熊本県天草市本町下河内680
 TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090
 E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp
 社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>
 施設の旬の話題を「**レイザンTOPIX**」にて更新中です。



新たなグループホームで

新たにあゆみ始める



「提案する仕事 その一」

施設長 鮎田 一夫

あゆみがこのスタイルになってから今回で一六〇号になりました。年六回の発行です。二七年目ということになります。十年一日のような紙面ですが、読んでくださっている皆さんに少しでも障害者の方や障害者福祉の日常をお伝えできたら幸いです。

今年の重点目標は「TAKEERからGIVERへ（与えられる仕事から提案する仕事へ）」です。職員一人ひとりがその意識を持って仕事をしてくれていると思いますが、まずは業務別に重点目標がどう活かされているかを紹介したいと思います。トップバッターは医務です。

茶山寮には二名、第二茶山寮には一名、グループホームにも一名の看護師が配置されています（そのうち一人は現在育休中）。施設看護師の仕事は、利用者や職員の健康を守り疾病、怪我に対し適切に対処し、医療機関との連携を行うなど守備範囲が広く、医者が常駐しないために責任の重い仕事です。大量の薬を間違いない服薬に繋げ、ほぼ毎日受診をするなど日々の業務をこなすだけでも大変ですが、さらに医務からの提案という形で様々な業務改

善や啓発活動を行っています。

一昨年からはじめたことの一つが口腔ケアの充実です。通常の歯磨きだけでは口腔ケアが行き届かない利用者数名をピックアップして、歯科医に相談の上定期的に看護師、支援員で特別に口腔ケアの時間を設け取り組んできました。その結果食物残渣が減り歯茎が健康になったり歯垢が減ったりという良い効果が出ています。今年度は更に月二回の訪問歯科診療に繋げてくれました。

また、新型コロナウイルス対策は医務が中心となって行いました。施設内の消毒方法の改善、ゾーニング・マニュアルの作成と数度にわたる改訂、訓練の繰り返しの実施等、多方面からの知識を総動員して一つの方向性を示してくれたのは医務の力です。さらに、利用者や支援員に対し適宜健康面での啓発活動を行っています。先日も歯磨きと体の健康について利用者の皆さんに分かりやすく説明してくれました。

医務、給食、支援と業務は分かれています。結局は利用者の生活をより良くすることが目的で重なり合う部分が多くあります。ここでは紹介しきれなかったのですが、茶山寮、第二茶山寮の医務は視点を利用者に向けた前向きな活動を、日々行っています。

サービスの現場より

『事務所より』

事務長 和田 茂樹



令和三年度障害福祉サービス等の報酬改定の概要で、重度・高齢化を踏まえた地域移行や地域生活の支援、感染症や災害への対応力の強化等横断的な決定事項が示されました。施設・居住系においては、口腔衛生管理や摂食・嚥下機能支援の充実を図る目的で「口腔衛生管理体制加算」や「口腔衛生管理加算」の新設及び「経口維持加算」の見直しが行われ、歯科医師や指示を受けた歯科衛生士が、施設従業者に対し口腔ケアに係る技術的助言を行うことや、利用者の口腔ケアを行うこと、相談等に対応することとされています。

口腔環境は、全身の健康と密接に関係していると言われており、峇山寮では早くから協力歯科「みなみ歯科医院」の松田院長・歯科衛生士さんのご協力で、施設や医院での集団検診実施の他、専門的技術や知識向上への助言を受け、個別のブラッシング指導や用具等の見直し、食前の嚥下体操を実施していました。今回、コロナ禍で中断していた定期訪問の打診にも快諾いただき、口腔内は基より肺炎等の疾病予防に努め、口腔ケアの質の向上に努めてまいります。

『私の担当利用者さんへの取り組み』

支援員 江崎 琢磨



私が担当しているSさんは、自分の中

で決めたことは曲げない芯の強い方です。そんなSさんは食えることが大好きで、食事の時間になるとすぐに食堂内を走って自身の席へ向かおうとされる為、都度声掛けし、マンツーマンにて席へ誘導することでご本人や他の利用者さんのケガ防止に努めています。少しでもリスクを減らすことに繋がればと、毎週行われる週末会議にて意見を募り、席の移動を提案することとなりました。最初の説明の段階では、慣れない席ということで拒否されており、なかなか納得いただけない様子が見られていました。しかし、いざ食事の間になると、食堂へ入ってすぐの席ということと移動しやすく『これならば』と思っていただけだったようで、拒否なくスムーズに席に着かれていました。

今後いろいろな取り組みの中において、ご本人に納得していただける環境を提供することができるよう、支援力を高めていかなければならないと思います。

『私の担当利用者さんへの取り組み』

支援主任 田中 正行



私がFさんへ直接お

手伝いをさせて頂くようになって、四年程が経ちます。当初は、声を掛けても全く無視。当のご本人は、タオルで頭から顔を覆いサングラス姿。喜怒哀楽の一片すら見せては頂けませんでした。しかし、こうして出会えたのも何かのご縁・・・と自身を奮起させ『何とか話しをしてみたい。笑い合ってみたい』と動き始めたことを今でも鮮明に覚えています。毎日毎日、これでもかというくらい、出勤後の挨拶とお部屋のベッド周りの掃除を続けました。毎回お邪魔している内に、TVのチャンネルがいつも洋画(特に昔の西部劇が好き)であることに気付いた時、これを話しの切っ掛け作りには出来ないかと、にわか仕込みでしたが、私もその映画や主人公の俳優について調べ話し掛けてみました。すると、突然顔を上げ、その映画の内容について、そして大好きな日本の映画俳優の話しまで聞かせて頂くことが出来ました。以来、徐々にですが、会話も増え始めました。

例え互いの距離を縮める心の歩幅が周り比べて小さくても、諦めず根気良く寄り添って行けたらと思います。

『事例研究を通して』

支援員 濱 陸史



「私が担当させて頂いているTさんは、恥ずかしがり屋

で何事にも遠慮がちです。活動にもあまり顔を出して貰える事が出来ず、一日の大半を居室で過ごされていました。」これは、以前の記事で私が書かせて頂いた、担当利用者さんへの取り組みの冒頭の部分です。どうにか活動に参加してもらい、居室で過ごす時間を減らすことが出来ないかと様々な取り組みを行いました。役割を持つて貰い意欲の向上を図った結果、歩行については年間を通して百八回も継続して参加してもらったことが出来ました。歩行の参加によって、一日の大半を居室で過ごされていたTさんの印象は大きく変化しました。その他の様々な取り組みはなかなか継続出来ない状況が続きましたが、その取り組みの一つが居室で過ごす時間を減らすことに繋がり、職員一人一人とTさんが信頼関係を構築する大切な時間となりました。

『事例研究を経て』

支援員 和田 卓巳

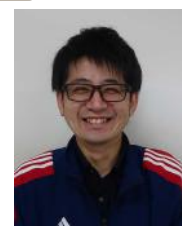


令和二年度の一年間は、事例メンバー六名でピックアップアツ

プした利用者さんの日頃の支援方法を見直し、より良いサービスを提供出来る様に話し合いを行ってきました。会議の中での決まり事として、自由な発想を持ち、他者の意見を尊重すること。この事を念頭に、意見を言いやすい環境を作り、対象の利用者さんへのサービスの質の向上のために意見を出し合いました。沢山意見も出て、実践してみる事も多いため「失敗したらどうしよう」という思いもありました。しかし、試していく中で多くの成功体験、利用者さんの笑顔を見ていく内に「一年間では時間が足りないのではないかと」と少しづつ私の意識も変わっていききました。その頃には事例での話し合いも楽しくなり「こういうアプローチをしてみたい」と思うようになり、どうしたら利用者さんの笑顔が増え、より良いサービスを提供出来るのかと考えるようになりました。今回の事例研究を経て、日頃の支援にも活用し皆さんが笑顔溢れ、充実した日常を過ごして頂ける様に今回の経験を大いに活かしていきたいと思

『事務員として』

事務員 角田 幸太郎



荅山寮と第二荅山寮では支援、看護、給食、事務の

四つの職種が存在します。今年度の重点目標にもあるように「全体支援」にそって多職種が連携をとることで、施設の運営が成り立っています。私は事務員として勤めていますが、行事等の際は他職員の補助として参加します。今年度の利用者全員健診の際、ある利用者さんが気分を悪くされ、倒れこむアクシデントがありました。顔が真っ青になった利用者さんを目の前にして、私はすぐに動けませんでした。が、看護師や支援員が駆け寄り、すぐに処置を始めました。利用者さんはしばらくすると顔色も良くなり、無事に健診を受けることが出来ました。この迅速かつ的確な判断や対応が、利用者さんの早期快復につながるといことを、改めて感じることが出来ました。この経験を活かし、今年度の重点目標である「全体支援」にそって自分に何が出来るかを模索しながら、他職種と連携を取りサポートすることで利用者さんにとって安心して楽しく生活出来る施設になるように努めていきます。

焼き物活動

四月より苓山寮・第二苓山寮・グループホーム事業所の三施設で、台同焼き物活動を開始しました。焼き物を単なる「楽しみ」や「余暇」で終わらせず、心身のリハビリに役立てていきたいと考えています。又、作品が完成するまでに時間が掛かりますが、その分達成感にも繋がります。活動は火・水・金の週三回です。陶芸棟を拠点に現在は箸置き作りの練習や、共同での作品作りを行っています。今後は、作品展示会の開催も視野に入れて活動しているところです。

今回は、お皿とムツゴロウ型の箸置きに挑戦します！できあがりを楽しみますね！！



駒打ち作業

今年度は椎茸の原木を二千本入荷しました。苓山寮と第二苓山寮とで協力して椎茸栽培を行っています。良い椎茸を収穫するため、原木にドリルで穴をあけ、そこに種駒を打ち込みます。原木の大きさにもよりますが、一本に十〜二十五個の穴を空けます。ここに利用者の方達が種駒を入れ、木槌で叩いてしっかり打ち込み穴を塞ぎます。皆さん真剣な表情で取り組まれていました。打ち残しが無いかを確認して「上手に打てましたね」と声掛けすると、とても嬉しそうにされます。こうして皆で協力して二千本の原木に種駒を打ってしまうのです。

今年もいっぱい椎茸が出来ますように！



管内買物（セブンイレブン移動販売）

四月二十六日（月）にコロナ禍にて自粛生活が続いている利用者のために、楽しみを提供し、少しでも気分転換に繋がればという思いから、セブンイレブンさんにご協力頂き、施設内にて移動販売を行いました。日用品から雑誌、お菓子類とたくさんの商品に「何をばいおうか」「これが良か」と皆さん笑顔で買い物を楽しんでいました。自粛生活の中でも、利用者の方が笑顔多く過ごせるよう、工夫しながら支援していきたいと思えます。

いらっしゃいませ〜

さあ、何ばいおうかね！



沢山買ってよかったばい！またみんなで買い物したかなあ！！



コロナウイルスワクチン接種

五月二十六日に六五歳以上の利用者さんを主な対象としたコロナウイルスワクチン接種が行われ、計五五名の方がワクチン接種を受けられました。皆さんのご協力のおかげで予定よりもスムーズにすすみ、接種後特変なく、無事に終了することができました。六月十六日に二度目のワクチン接種を予定しています。

①看護師によるワクチン準備

②接種開始です！



③三十分の状態観察中です

④無事終了！お疲れ様でした！



【新職員紹介】
大塚 啓祐さん (苓山寮)



皆さん初めまして、新入職員の大塚啓祐と言います。早く皆さんと仲良くなりたと思います。よろしくお願いします。よろしくお願いいたします。

【退職職員紹介】
池田 真子さん (苓山寮)

五月三十一日付けで退職されました。支援員として約八年の間、施設や利用者さんの為に勤めて下さいました。今後も池田さんのご健勝とご活躍をお祈りしています。ありがとうございます。

【人事紹介】四月一日付
株野 勝 (支援主任↓支援課長補佐)

▽田中 正行 (苓山寮支援主任
↓第二苓山寮支援主任)

▽和田 卓巳 (第二苓山寮支援員
↓苓山寮支援員)

【利用者異動紹介】
▽田中 秀幸さん (第二苓山寮
↓第二苓山寮GH事業所)

▽山田 健司さん (第二苓山寮GH事業所
↓第二苓山寮)

【お悔やみ】
江口 昭美さん (苓山寮)

昭和六十年九月に入所され、三五年もの長い間この苓山寮で過ごされました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

【グループホーム事業所紹介】第一弾
▽グループホームつばさ

四月一日より「グループホーム浜荘」は「グループホームつばさ」に名称が変わりました。所在地も楠浦町から寮の近隣へ移転し、七名の利用者さんが生活されています。生活介護の利用者さんも多く、第二苓山寮で陶芸や歩行等の活動をされています。徐々に生活にも慣れてこられ、新しい仲間と笑顔で生活されています。これからもこの笑顔を守るために支援を行っていきます。

利用者の風景

内古閑 元雄さん

内古閑さんは絵を描くことが大好きで、特に職員の車をよくスケッチされています。上手く描けた時には車の持ち主である職員にプレゼントすることもあります。そんな時に今年度のパラリンアートコンテストのお知らせが届きました。なんとテーマは『車』。内古閑さんにぴったりです。お気に入りの作品を一つ選んでもらい応募しました。入選することを期待して吉報を待ちたいと思います。



里 信之さん

里信之さんは、朝礼時に月一回のペースで『里ニュース』を皆さんの前で発表しています。楽しい、嬉しいと思ってもらえるホットなニュースを皆さんに伝えられる様に心掛けておられます。少し気が弱く、照れ屋の里さんが「そうですね・・・」と頭をかきながら話をされますが、担当としてはいつもドキドキそしてワクワクしながら聞いてます。何かいいニュースがありましたら里さんにお声がけしていただければ嬉しいです。



行事予定 (変更あり次第、ご連絡します)

六月	十六日	コロナワクチン接種 (六五歳以上の方、二回目)
	二三日	災害対応BCP訓練
	二九日	第二回管内研修
七月	六日	亀川小学校福祉説明会
	七日	不審者対応訓練 配置医来寮
	二七日	第三回管内研修
八月	四日	配置医来寮
	七日	天草ハイヤ(中止)

編集後記

長くジメジメした梅雨も終わり、いよいよ夏が始まります。昨年からコロナウイルス感染症により、なかなか外出できない日々が続いております。そんな日々の中ではありますが、一、四キロ歩行に出掛けた先で鯉幟や紫陽花の花を見つけた利用者さんがとても嬉しそうに話してください、一緒に季節を感じる事が出来て喜んでいきます。小さな発見を一緒にする様に心掛けて支援を行っています。これからますます暑くなりますが、体調には十分に気を付けてらしてください。ご家族の皆様と会えることをとても楽しみに日々過ごしております。